

# 地域企業 戦略座談会 ①

開催日 平成27年7月24日  
場所 名古屋JIC会館

～ テーマ ～

モノづくりを中心とした名古屋経済が利益と社会貢献を一体としながらもこれから持続的に発展していくためにはどうすればよいのか

**小木曾** 名古屋経済の現状をどう感じているか、その中でどのような企業戦略を立てているかをお聞かせ下さい。

**内田** 緩やかな回復を続ける日本経済をけん引しているのは名古屋経済ですが、製造業の生産活動はやや停滞気味だと思えます。業績は過去最高を更新する企業も多いですが、円安の効果が大きく、中国などアジアへの輸出が減速してくるため、今後は内需の活性化も併せて必要となつてきます。

**倉田** 私は、起業して20年になります。製造業の余波は、1年半くらい遅れてやってきました。名古屋圏のビジネスはどうしてもトヨタ系の動向に左右されますが、なるべくその影響を受けないような戦略を立てて経営しています。ただ、私がトヨタ系の影響を受けないよう戦略を立てても、私のお客様がトヨタ系の影響を受けるので防ぎきれない部分もあります。

**緒川** 私は、民間によるロケット開発を行うベンチャー企業

ですが、この業界でも同様に影響は受けますよ。しかし、国内自動車大手11社の年間売上の合計額が約52兆円であるのに対し、航空宇宙産業は約1兆7千億円と小さいです。

部品点数は300万個という巨大システムではありませんが、数が出ないので。MRJは月産7台と言いますから自動車の何百万分の一です。儲からない業界ですが、新しいことにチャレンジしていけば光が差すと思います。

**小木曾** 大企業の影響の受け方は様々なようですね。

**内田** 大企業が景気をけん引していますが、ベンチャー企業の支えも必要で。また、リニア時代になると名古屋圏は首都圏とのシナジー効果に期待できます。互いに産業構造も異なるため、ストロー現象よりも吸引力の方が大きいと見ています

**小木曾** なるほど。それでは、座談会②では名古屋の地域企業の対東京戦略について話し合いたいと思います。



中京大学経済学部  
客員教授 内田俊宏



株式会社  
ラッシュインターナショナル  
代表取締役 倉田満美子



PDエアロスペース株式会社  
代表取締役 緒川修治

コーディネーター  
(公社)名古屋青年会議所  
小木曾 仁 (世界を支える名古屋経済研究委員会)



# 地域企業 戦略座談会 ②

開催日 平成27年7月24日  
場所 名古屋JCI会館

～ テーマ ～

モノづくりを中心とした名古屋経済が利益と社会貢献を一体としながらもこれから持続的に発展していくためにはどうすればよいのか

**小木曾** 前回に続きまして、名古屋の地域企業の対東京戦略についてお聞きします。

**倉田** 東京は、コンサル業などの無形のモノに対する価値が高く、名古屋は無形のモノへの評価が低いように思います。また、東京は良いもの、大阪は安いものを求める傾向にありますが、名古屋はファジーですが、ここで弊社は、モノづくりエリアであることを生かして、東京で無形のビジネスを展開し、ここで使うモノを名古屋で製造しています。

**内田** 名古屋圏は製品のコストパフォーマンスに厳しい地域だと思います。そうした名古屋圏の製造業と首都圏のソフト産業の親和性は高く、ものづくりのパッケージ化で高付加価値化のチャンスは広がると思います。

**小木曾** なるほど、名古屋と東京は産業構造が違うんですね。

**緒川** 名古屋ではいくつかのプロジェクトが立ち上がっており、それは名古屋にとってアドバンテージになると思いますが、それにより名古屋の人が温

室育ちになることが心配です。

名古屋にはトヨタ系も三菱系もあり、仕事もあるから危惧感もなく、新しいモノを自分で作っていく氣質が弱いと思います。外に出て戦う術を身に着ける必要があると思います。

**小木曾** 最後に一言ずついただきたいと思います。

**内田** リニア時代になっても名古屋らしさを失わず、首都圏とは異なる価値観を全国にもたらし続け、名古屋圏が地方創生の先頭に立って成長を続けてほしいです。

**倉田** 私は、女性や母親が働きやすい会社を作ろうと起業したので、女性の人材戦略に取り組み企業もっと増えて欲しいと思います。それと何事にも勇気を持ってチャレンジして欲しいと思います。

**緒川** 名古屋でもイノベーションが必要であり、モノづくりのベンチャー企業が名古屋でどんな誕生して欲しいと思います。

**小木曾** 本日は、ありがとうございました。



スタッフ全員が助け合い  
快適な職場環境を作り出す

販促支援コンサルティングをメイン事業として展開するラッシュ・インターナショナル。女性ならではの視点と感性を生かしたコンサルティングサービスに特化しています。社長の倉田満美子氏は、大手自動車メーカーを退職後、フリーのPCインストラクターに。その後、自身の出産・育児の経験のもと、女性が働きやすい職場作りを考えて、同社を立ち上げました。家庭と仕事を両立しながら、自分のスキルを生かせる場を女性に提供。社員のほとんどが子育て中の女性というスタッフ構成です。この功績が認められ、経済産業省から「ダイバーシティ経営企業100選」に選定されました。ダイバーシティとは、翻訳すると多様性のこと。女性、外国人、高齢者といった多様な人材を積極的に活用している企業として、平成26年度は全国52の企業が表彰されています。

同社では、ただ単に女性を採用するだけではなく、いかに快適に仕事ができるかといった工夫も重ねています。そのひとつが、自由に休める

子育て中の女性に、スキル生かせる場を提供

環境作りです。子供がいると、学校の行事、突然の病気やケガなどが発生しやすく休めるよう、スタッフ全員で理由を共有し、助け合える環境を作り上げました。毎日のミーティングでコミュニケーションを図り、スタッフ間の風通しは良好。もちろん、最低限のモラル教育も行なっています。また、みんなの前で褒める、叱るといったこともポイントです。気持ちを共有し、団結力に結び付くと考えています。常に「平等」であることを意識することで、スタッフのフォローアップを誰もが行なうといった空気が生まれるようになります。

大企業では困難な勤務体制と、きめ細やかな人材教育。この2点で女性スタッフを守り、能力を生かすラッシュ・インターナショナル。国内はもちろん、アメリカ、タイ、香港、台湾など海外にも進出中。日本女性の能力を世界でもいかになく発揮させたいという想いが伝わってきました。



株式会社  
ラッシュ・インターナショナル

代表取締役 倉田 満美子

所在地 名古屋市中区丸の内3丁目6-27  
TEL (052) 950-6003  
URL <http://www.rush-i.com/>  
事業 データ入力・収集・分析・コンサルティング  
コールセンター&事務局代行  
デザイン・販促支援/翻訳/オフィスサポート  
理念 ・女性の力を社会に活かす  
・感謝し合う・期待を超える